

7月11日(木) 佐野会場



午後6時30分
佐野市役所
(委員会室)
参加人数：53名

○議会報告のテーマ

- ・移住・定住の促進について
- ・佐野地区の公共交通について
- ・佐野地区の空き家対策について

○意見交換

(議会報告の内容とフリートーク)

移住・定住について

- 豊かさ、独自の文化があって、素晴らしい所だと示さないと人は住みつかないと思う。
- 若者の移住定住が促進されるように、障がいや病気をお持ちの方が、一般就労を目指す運営をしている事業所が多いことをもっとアピールすべきではないか。
- 空き家や市営住宅をリノベーションし、子育て世代に入居していただけるように資源の有効活用を図るべきでは。
- 他市との違いを出し、目立ったことで人を引きつけるには、議会みんなでアイデアを出して、議会がリーダーシップをとってやっていくことが一番の人口減少対策になると思う。
- 若者が出でいってしまう一番の原因は大学進学。また戻ってきてもらえるよう市街化調整区域など規制緩和に努めるべき。
- 人口増につながるきっかけづくりなど、新たな発想に取り組み、市と住民が一体となって情報を共有することを期待する。

佐野地区の公共交通について

- 毎年1億円近い赤字を出している現実を把握して、本当に使えるように、税金の無駄をこんなに出さなくて済む方法を議員さんたちに考えていただきたい。
- 空でバスを走らせるなら、荷物を運ぶことは可能なのか。路線内での荷物の送料を得ることができるのでは。
- 奈良渕地区はコンビニが一軒しかない。スーパーも近くになく、バス利用も停留所が遠いので路線の検討を希望したい。

その他

- 栃木市と小山市のバスは相互に乗り入れている。佐野市は栃木市(岩舟)との接点はあるが、足利市ともするべきだと思う。
- 名水赤見線から新都市バスターミナルやイオンへの路線との乗り継ぎが悪い便がある。一日何便かでも直接新都市バスターミナルやイオンに行ける便を設ければ、利用が増えるのではないか。
- 障がいをもった人たちが車の免許返納などを心配しなですむような交通政策をお願いしたい。
- バスの騒音について対策を講じてほしい。
- 採算を取るか、採算は度外視して福祉的意義を重視するか、優先度を示すことが重要だ。
- 新規に始まる吾妻線などについては、過去の失敗事例を活かして、利用者がなく廃止や路線の変更がないようにしてほしい。
- 赤見名水線はかなりの利用者がいるので、赤字路線もあり問題ではあるが、大いに利用してもらえるような方法を考えてほしい。
- 公共交通の無料化を検討してはどうか。
- 小山市と栃木市の様に市営バスの連携、提携を結んで佐野市からも近隣市に乗り換えなくても移動できるようにしてほしい。
- 街中の人はデマンド方式ができないので高齢者福祉タクシー券の利用を病院だけでなく、買い物にも利用できるような方法を取ってほしい。
- スマホのアプリなどITを活用した効率的な運行をしてほしい。運営側は乗車人数と場所が把握でき、乗車する人は待ち時間や運行状況が分かるなど、デマンド運行でもストレスなく乗車できるのではないか。